



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 不二サッシ株式会社  
 コード番号 5940 URL <http://www.fujisash.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勉

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長 (氏名) 塩原 和己

TEL 03-6867-0777

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	92,396	△9.2	534	△10.5	898	21.9	572	32.3
2020年3月期	101,789	3.6	596	△48.2	737	△42.1	432	△50.7

(注) 包括利益 2021年3月期 1,180百万円 (135.6%) 2020年3月期 500百万円 (△44.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	4.54	—	2.8	1.0	0.6
2020年3月期	3.43	—	2.2	0.8	0.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 16百万円 2020年3月期 27百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	91,702	21,293	23.1	167.53
2020年3月期	92,155	20,297	21.9	159.90

(参考) 自己資本 2021年3月期 21,140百万円 2020年3月期 20,167百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,487	△2,346	1,081	15,886
2020年3月期	4,830	△2,509	△1,769	13,656

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50	189	43.7	0.9
2021年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00	126	22.0	0.6
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00	—	—	—

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	3.9	1,000	87.2	870	△3.2	200	△65.1	1.58

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」を適用致しますが、影響額については算定中であるため、業績予想につきましては従来の会計基準を用いております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	126,267,824 株	2020年3月期	126,267,824 株
2021年3月期	77,789 株	2020年3月期	139,188 株
2021年3月期	126,135,704 株	2020年3月期	126,129,347 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	44,284	△9.4	236	—	795	769.5	721	146.3
2020年3月期	48,855	2.6	△144	—	91	△77.2	293	△42.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	5.72	—
2020年3月期	2.32	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	58,668	13,820	23.6	109.52
2020年3月期	58,427	12,913	22.1	102.33

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,820百万円 2020年3月期 12,913百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	17
4. その他 .....	17
役員の異動 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい環境が続きましたが、年度後半より、一部持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは2017年度にスタートさせました中期経営計画「創造」の4年目におきましても各施策を推進してまいりましたが、建材事業においては、新設住宅着工戸数が貸家を中心に減少し、先行きの不透明感は強まり、形材外販事業においては、市場環境の冷え込みにより物量が大幅に減少し、厳しい事業環境が続いております。

この結果、売上高923億9千6百万円(前年同期比9.2%減)、営業利益5億3千4百万円(前年同期は営業利益5億9千6百万円)、経常利益8億9千8百万円(前年同期は経常利益7億3千7百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益5億7千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益4億3千2百万円)となりました。

## ② 事業の種類別セグメントの状況

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりであります。

## 〔建材事業〕

建材事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大による市場悪化を受け、売上高は685億9百万円(前年同期比9.1%減)と減収になりましたが、ビルサッシ事業の利益率改善により、セグメント利益19億6千9百万円(前年同期はセグメント利益15億7千1百万円)と増益になりました。

## 〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大による市場環境の冷え込みや競争激化などの影響から、売上高は184億9千1百万円(前年同期比12.0%減)、セグメント損失7億4千1百万円(前年同期はセグメント利益2千5百万円)と減収減益になりました。

## 〔環境事業〕

環境事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、営業力の強化により、売上高は32億1千4百万円(前年同期比2.2%増)、セグメント利益2億5千1百万円(前年同期はセグメント利益1億6千1百万円)と増収増益となりました。

## 〔運送事業〕

運送事業においては、サッシ及び形材販売の出荷量減等の影響を受け、売上高は18億1千3百万円(前年同期比9.8%減)と減収になりましたが、倉庫事業の強化により、セグメント利益3億3千7百万円(前年同期はセグメント利益3億円)と減収増益となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は529億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億8百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が22億5千8百万円、電子記録債権が9億2千2百万円増加し、受取手形及び売掛金が26億7百万円、仕掛品が12億1千8百万円減少したことによるものであります。固定資産は387億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千5百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が6億2千4百万円、投資その他の資産のその他が1億4千5百万円増加し、有形固定資産が2億2千万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は917億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千3百万円減少いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は470億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億1千2百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が27億6千6百万円、1年内償還予定の社債が24億9千5百万円増加し、支払手形及び買掛金が21億8千3百万円、前受金が6億円、その他が3億4千8百万円減少したことによるものであります。固定負債は233億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億6千1百万円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債が3億2千4百万円増加し、社債が27億1千万円、長期借入金が9億2千5百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は704億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億4千9百万円減少いたしました。

## （純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は212億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億9千6百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が3億8千3百万円、その他有価証券評価差額金が4億3千5百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は23.1%（前連結会計年度末は21.9%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ22億2千9百万円増加し、当連結会計年度末には158億8千6百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、34億8千7百万円（前年同期は48億3千万円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、23億4千6百万円（前年同期は25億9百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、10億8千1百万円（前年同期は17億6千9百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増加額によるものであります。

## （参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率（%）	20.4	21.1	21.9	21.9	23.1
時価ベースの自己資本比率（%）	14.8	13.9	12.4	9.3	11.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	4.3	15.2	6.4	4.8	7.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	15.4	6.2	14.5	19.4	14.9

（注） 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大は、国内外経済への影響は大きく、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものの、一方で、ワクチン接種など感染拡大防止策が講じられる事で、景気持ち直しの動きが続くものと期待されます。

国内の建設市場におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化することによる建設投資の見直しによる抑制、先送りなどが続いているものの、戸建てやマンション等で回復傾向が見込まれております。

このような経営環境下、当社は持続可能な成長を目指し、経営資源の選択と集中を図ってまいります。また、形材外販事業の収益改善のための合理化施策を講じ、特別損失を計上する見込ではありますが、建材事業における受注確保状況を踏まえ、次のとおり、増収増益を見込んでおります。

	2022年3月期予想 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日 金額 (百万円)	当連結会計年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日 金額 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	伸率 (%)
売上高	96,000	92,396	3,603	3.9
営業利益	1,000	534	465	87.2
経常利益	870	898	△28	△3.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	200	572	△372	△65.1

※ 2022年3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」を適用致しますが、影響額については算定中であるため、業績予想につきましては従来の会計基準を用いております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,325	16,583
受取手形及び売掛金	17,190	14,583
電子記録債権	3,405	4,328
商品及び製品	1,145	1,223
仕掛品	13,663	12,445
原材料及び貯蔵品	2,711	2,630
販売用不動産	309	306
その他	1,559	1,519
貸倒引当金	△628	△646
流動資産合計	53,682	52,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,503	39,430
減価償却累計額及び減損損失累計額	△31,078	△31,483
建物及び構築物(純額)	7,425	7,946
機械装置及び運搬具	41,258	41,076
減価償却累計額及び減損損失累計額	△35,887	△35,619
機械装置及び運搬具(純額)	5,370	5,456
土地	13,683	13,729
リース資産	2,349	2,402
減価償却累計額	△953	△1,146
リース資産(純額)	1,396	1,256
建設仮勘定	761	94
その他	11,629	11,747
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,596	△10,781
その他(純額)	1,033	966
有形固定資産合計	29,670	29,450
無形固定資産		
のれん	278	232
その他	323	395
無形固定資産合計	601	628
投資その他の資産		
投資有価証券	2,254	2,879
長期貸付金	345	334
繰延税金資産	4,162	3,891
その他	2,333	2,478
貸倒引当金	△897	△935
投資その他の資産合計	8,199	8,649
固定資産合計	38,472	38,728
資産合計	92,155	91,702

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,484	13,301
電子記録債務	4,858	4,697
短期借入金	11,955	14,722
1年内償還予定の社債	215	2,710
リース債務	237	233
未払法人税等	302	268
前受金	8,546	7,946
工事損失引当金	271	319
その他	3,151	2,837
流動負債合計	45,024	47,036
固定負債		
社債	2,725	15
長期借入金	6,559	5,633
リース債務	1,306	1,166
繰延税金負債	27	27
再評価に係る繰延税金負債	413	413
退職給付に係る負債	15,204	15,528
資産除去債務	265	270
その他	333	317
固定負債合計	26,834	23,373
負債合計	71,858	70,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	816	816
利益剰余金	16,923	17,307
自己株式	△15	△9
株主資本合計	19,434	19,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	900
土地再評価差額金	1,505	1,505
為替換算調整勘定	△382	△414
退職給付に係る調整累計額	△854	△674
その他の包括利益累計額合計	733	1,316
非支配株主持分	129	153
純資産合計	20,297	21,293
負債純資産合計	92,155	91,702

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	101,789	92,396
売上原価	87,454	78,940
売上総利益	14,334	13,456
販売費及び一般管理費	13,738	12,922
営業利益	596	534
営業外収益		
受取利息	17	20
受取配当金	87	89
持分法による投資利益	27	16
電力販売収益	134	138
保険配当金	128	139
受取賃貸料	51	82
受取保険金	46	31
雇用調整助成金	2	174
その他	216	232
営業外収益合計	713	926
営業外費用		
支払利息	253	231
手形売却損	9	5
電力販売費用	139	138
為替差損	77	—
賃貸費用	26	61
その他	65	125
営業外費用合計	572	562
経常利益	737	898
特別利益		
固定資産売却益	2	6
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	11	27
事業譲渡益	—	291
その他	1	15
特別利益合計	15	341
特別損失		
固定資産圧縮損	4	9
特別調査費用等	83	—
減損損失	—	103
固定資産除却損	1	61
その他	11	17
特別損失合計	100	191
税金等調整前当期純利益	651	1,048
法人税、住民税及び事業税	397	430
法人税等調整額	△182	26
法人税等合計	214	457
当期純利益	437	590
非支配株主に帰属する当期純利益	4	18
親会社株主に帰属する当期純利益	432	572

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	437	590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159	435
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	35	△29
退職給付に係る調整額	188	180
持分法適用会社に対する持分相当額	—	3
その他の包括利益合計	63	589
包括利益	500	1,180
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	504	1,156
非支配株主に係る包括利益	△3	24

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,709	816	16,680	△15	19,190
当期変動額					
剰余金の配当			△189		△189
親会社株主に帰属する 当期純利益			432		432
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	243	△0	243
当期末残高	1,709	816	16,923	△15	19,434

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	624	0	1,505	△425	△1,043	661	133	19,985
当期変動額								
剰余金の配当								△189
親会社株主に帰属する 当期純利益								432
自己株式の取得								△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△159	△0	—	43	188	71	△3	67
当期変動額合計	△159	△0	—	43	188	71	△3	311
当期末残高	465	—	1,505	△382	△854	733	129	20,297

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,709	816	16,923	△15	19,434
当期変動額					
剰余金の配当			△189		△189
親会社株主に帰属する 当期純利益			572		572
自己株式の取得				5	5
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	383	5	389
当期末残高	1,709	816	17,307	△9	19,823

	その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	465	1,505	△382	△854	733	129	20,297
当期変動額							
剰余金の配当							△189
親会社株主に帰属する 当期純利益							572
自己株式の取得							5
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	435	—	△32	180	583	23	607
当期変動額合計	435	—	△32	180	583	23	996
当期末残高	900	1,505	△414	△674	1,316	153	21,293

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	651	1,048
減価償却費	2,206	2,293
事業譲渡損益(△は益)	—	△291
持分法による投資損益(△は益)	△27	△16
受取利息及び受取配当金	△104	△110
支払利息	253	231
固定資産売却損益(△は益)	6	△5
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	23
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△67	47
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	359	578
売上債権の増減額(△は増加)	2,452	1,758
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,634	1,238
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,947	△2,351
前受金の増減額(△は減少)	2,897	△600
その他	400	61
小計	5,428	3,907
利息及び配当金の受取額	106	112
利息の支払額	△256	△233
法人税等の支払額	△494	△317
その他	46	19
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,830</b>	<b>3,487</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△320	△236
定期預金の払戻による収入	646	217
国庫補助金による収入	4	—
有形固定資産の取得による支出	△2,481	△2,493
有形固定資産の売却による収入	24	69
無形固定資産の取得による支出	△94	△192
投資有価証券の取得による支出	△94	△21
投資有価証券の売却による収入	15	18
資産除去債務の履行による支出	△38	△3
事業譲渡による収入	—	291
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△17	—
その他	△154	5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,509</b>	<b>△2,346</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,707	2,970
長期借入れによる収入	4,323	2,115
長期借入金の返済による支出	△3,317	△3,328
社債の償還による支出	△620	△215
その他	△448	△461
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,769</b>	<b>1,081</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	545	2,229
現金及び現金同等物の期首残高	13,111	13,656
現金及び現金同等物の期末残高	13,656	15,886

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を予測することは極めて困難であります。当社グループにおいては、ホテル等の建設投資の見直しが続くなか、戸建て住宅やマンション等では徐々に回復傾向が見られております。

繰延税金資産の回収可能性や減損損失の認識の判定等にあたっては、今後の新型コロナウイルス感染症の影響は継続的に軽微であるとの仮定を置いて、連結財務諸表作成時点で入手可能な情報に基づいて会計上の見積りを行っております。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、上記仮定に変化が生じた場合には、翌連結会計年度以降の当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

## (セグメント情報)

## a. セグメント情報

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、アルミサッシを中心とした「建材事業」、アルミ型材及びアルミ加工品等に関する「型材外販事業」及び都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備プラント等に関する「環境事業」並びにこれら事業の物流に関する「運送事業」を主力に事業を展開しており、これら4つを報告セグメントとしております。

「建材事業」の主な製品にはカーテンウォール、サッシ、ドア、室内建具、エクステリア製品等、「型材外販事業」の主な製品にはアルミ型材、アルミ精密加工品等があり、「環境事業」においては、都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備プラントとそれに伴う薬剤販売、都市ゴミリサイクル施設の設計・製作・工事を行っており、また、「運送事業」においては、建材、プラント等の輸送等を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	型材外販	環境	運送	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	75,323	21,001	3,144	2,010	101,480	308	101,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	6,631	—	2,725	9,374	13	9,387
計	75,341	27,633	3,144	4,736	110,855	321	111,177
セグメント利益	1,571	25	161	300	2,059	62	2,122
その他の項目							
減価償却費	848	1,106	2	69	2,027	169	2,197

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産、負債につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。なお、各資産に係る減価償却費については、合理的な基準に従い、対応する各報告セグメントに配分しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	運送	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	68,509	18,491	3,214	1,813	92,029	367	92,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	96	5,224	—	2,496	7,817	—	7,817
計	68,606	23,716	3,214	4,309	99,846	367	100,214
セグメント利益	1,969	△741	251	337	1,816	154	1,970
その他の項目							
減価償却費	968	1,063	1	62	2,096	181	2,278

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産、負債につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。なお、各資産に係る減価償却費については、合理的な基準に従い、対応する各報告セグメントに配分しております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	110,855	99,846
「その他」の区分の売上高	321	367
セグメント間取引消去	△9,387	△7,817
連結財務諸表の売上高	101,789	92,396

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,059	1,816
「その他」の区分の利益	62	154
セグメント間取引消去	145	183
全社費用(注)	△1,670	△1,620
連結財務諸表の営業利益	596	534

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:百万円)

減価償却費	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,027	2,096
「その他」の区分の減価償却費	169	181
全社費用(注)	8	15
連結財務諸表の減価償却費	2,206	2,293

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない減価償却費であります。

## b. 関連情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	建材	形材外販	環境	運送	その他	合計
外部顧客への売上高	75,323	21,001	3,144	2,010	308	101,789

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載は省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

売上高の10%を超える売上高を計上した顧客が存在しないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	建材	形材外販	環境	運送	その他	合計
外部顧客への売上高	68,509	18,491	3,214	1,813	367	92,396

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載は省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

売上高の10%を超える売上高を計上した顧客が存在しないため、記載を省略しております。

## c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	建材	形材外販	環境	運送	その他 (注)	全社・消去	合計
減損損失	-	103	-	-	-	-	103

(注) 「その他」の金額は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等に係る金額であります。

## d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	建材	形材外販	環境	運送	その他 (注)	全社・消去	合計
当期償却額	41	-	-	-	-	-	41
当期末残高	278	-	-	-	-	-	278

(注) 「その他」の金額は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等に係る金額であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	建材	形材外販	環境	運送	その他 (注)	全社・消去	合計
当期償却額	45	—	—	—	—	—	45
当期末残高	232	—	—	—	—	—	232

(注)「その他」の金額は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等に係る金額であります。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	159.90円	167.53円
1株当たり当期純利益	3.43円	4.54円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	432	572
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	432	572
普通株式の期中平均株式数(千株)	126,129	126,190

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の変動

##### ① 代表取締役の変動

- ・退任予定代表取締役

代表取締役 石堂 金也

##### ② その他の役員の変動

- ・新任取締役候補

取締役 新野 伸宏(現 執行役員 管理本部長)

(注)新野 伸宏氏は、2021年6月29日に行う定時株主総会での選任予定の取締役の候補者ではありません。

取締役 石井 浩(現 執行役員 経営企画室長)

(注)石井 浩氏は、2021年6月29日に行う定時株主総会での選任予定の取締役の候補者であります。

- ・新任監査役候補

(非常勤) 監査役 佐橋 広司(現 グリーンフォレストケア㈱取締役会長)

(注)佐橋 広司氏は、2021年6月29日に行う定時株主総会での選任予定の社外監査役の候補者であります。

- ・退任予定監査役

(非常勤) 監査役 佐々木 茂

##### ③ 就任及び退任予定日

2021年6月29日